

# 戦 評

大会名 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：田中 哲

副 審：多田 直樹

試合結果

不来方 3 {  $\begin{matrix} 25-23 \\ 25-16 \\ 26-28 \\ 25-20 \end{matrix}$  } 1 一関修紅

戦 評

試合時間 1時間 42分

三年生にとって本年度最初で最後の全国大会をかけた決勝戦。試合序盤から固さの見える一関修紅に対し、高さのある攻撃と効果的なブロックで不来方が得点を重ねる。一関修紅も4番多田を中心とした攻撃で追いつがるも、安定した攻撃をみせた不来方が逃げ切り、第1セットを先取した。第2セットは、第1セット先取の勢いのまま不来方が連取した。第3セット、後がなくなり巻き返しを図りたい一関修紅は、序盤から不来方にリードされたが、7番高橋の効果的なサーブから流れを掴み、逆転でこのセットを取った。第4セットは、両チームのエースが打ち合い接戦を展開するも、要所で効果的なサーブを決めた不来方が逃げ切り、2年連続14回目の優勝を果たした。

戦評者：小野寺 勝

# 戦 評

大会名 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：畠山 沙由利

副 審：小野寺 太

試合結果

高 田      3       $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 19 \\ 25 - 21 \\ 25 - 20 \end{array} \right\}$       0      花巻南

戦 評

試合時間 1時間19分

---

第1セット、高さの花巻南、守りの高田、それぞれの持ち味を生かした攻防が続く。中盤高田2番佐藤(紅)のクイック攻撃から流れを掴んだ高田が先取した。

---

第2セットは一進一退の展開となる。花巻南4番紺野の攻撃を中心に反撃を試みた花巻南だったが、得点の機会を逃さなかった高田が終盤抜け出し、セットを連取した。

---

第3セット、序盤こそ先行した花巻南だったが、勝負を決めたい高田は2番佐藤(紅)のサーブミスから流れを掴み、一気に得点を重ね、7年ぶり21回目の優勝を決めた。

---

---

---

---

---

戦評者：山根 寿